

<参考資料>

日本橋かるたについて

「日本橋かるた」は日本橋地域ルネッサンス 100 年計画委員会が設立 10 周年を記念して制作された郷土かるたです。忘れられかけていた日本橋地域の原風景や承継したい歴史、伝統、事柄、人物等をテーマに、明日を担う子どもたちや地域の皆様に街に対する愛着や誇りを培っていただくとともに、新たな日本橋ファンづくりによる日本橋地域の活性化を図るために、制作されました。

かるた遊びに加え、付属の地図（江戸 MAP、現代 MAP）を使用し、日本橋エリアの街歩きにもご利用いただけます。

「日本橋かるた」の詠み句 47 句は、全国 38 都道府県、年齢は 8 歳から 92 歳までの一般応募者 894 名、応募総数 4,114 句の中から、日本橋ゆかりの学識経験者や地元代表を中心とした選定委員会が 2009 年 11 月に選定しました。絵札デザインは、新進気鋭の浮世絵師「六代目 歌川国政」氏に作画いただき、制作監修は 1921 年創業の老舗「奥野かるた店」にご協力いただきました。

【これまでの経緯】

2009 年夏	募集開始、4,114 句の応募
2009 年秋～2010 年春	47 句を選出、絵師を六代目・歌川国政氏に決定
2010 年 12 月初旬	日本橋かるた完成
2010 年 12 月中旬	日本橋エリアの小中学校（8 校全生徒 約 1,900 人）へ配布 常盤小学校で贈呈式実施
2011 年 2 月中旬	かるた まちめぐり開催
累計発行数	8,000 組



日本橋かるた（絵札・字札「ゑ、い」）

日本橋かるた 街歩きマップ（現代MAP）



六代目 歌川国政氏 プロフィール (HP: <http://www.kunimasa.jp/>)

- 1978 年 東京都葛飾区生まれ。
- 2000 年 六代目・歌川豊國に入門。間もなくして六代目が他界した為独学で浮世絵を学び、個展、グループ展等を精力的に開き、制作活動を行っている。
- 2006 年 10 月 銀座アートのスペースで歌川派展を開催
- 2007 年 夏 写楽を題材にした映画「宮城野」で使用される浮世絵の制作を担当
- 2008 年 2 月 銀座ふそうギャラリーで個展を開く
- 2009 年 11 月 六代目・歌川国政を襲名

「日本橋かるた」販売店舗

- ①奥野かるた店（東京都千代田区神田神保町 2-26） 問い合わせ先：03-3264-8031
- ②コレド室町「日本橋案内所」（コレド室町 地下 1 階） 問い合わせ先：03-3242-0010
- ③丸善 日本橋店（東京都中央区日本橋 2-3-10） 問い合わせ先：03-6214-2001
- ④伊場仙（東京都中央区日本橋小舟町 4-1） 問い合わせ先：03-3664-9261

～日本橋地域ルネッサンス 100 年計画委員会とは～

江戸時代から文化・商業・情報の中心地として発展してきた日本橋が、かつての賑わいを失いつつある中、日本橋にかつての賑わいをとりもどし、「豊かな」しかも「潤いのあるまち」に再生を図るため、地元住民・企業が中心となり、1999 年『日本橋地域ルネッサンス 100 年計画委員会』（略称：日本橋ルネッサンス委員会）が設立されました。

まちづくりのあらゆる手法を駆使し、歴史的背景を見すえ、今後の 100 年を経済的・社会的・文化的な再生、具体的には日本橋地域の活性化と日本橋川の再生のビジョンを提言し、21 世紀のまちづくり策を発信していくことを決意し、行動しています。

～名橋「日本橋」保存会とは～

今年は 20 代目の「日本橋」が架橋 100 周年を迎えた特別な年。

天下の名橋であり、五街道の起点である「日本橋」が高速道路によって覆われ、美観が損なわれてしまったのは 1963 年のこと。この「日本橋」を蘇らせ、少しでも良い状態で後世に伝えたいと立ちあがった周辺の町会、企業等により、1968 年 5 月に本会が発足しました。現在は「日本橋」橋洗いなど、様々なイベントを通して日本橋の PR 活動を行っています。

～ECO EDO 日本橋とは～

2008 年 8 月、名橋「日本橋」保存会や地元団体、企業などが中心となり ECO EDO 日本橋 実行委員会を設立。「人と人、人と自然のつながりを大切にしていた江戸の人々の共生の精神を今に伝え、日本橋ならではの新たなスタイルを創造し、発信するまちへ」として「ECO EDO 日本橋」宣言を行いました。

「ECO EDO 日本橋」宣言

江戸のまちに暮らす人々は、モノを大切に使い、
自然とも共生する知恵と技術で、循環型社会を実現していました。
持続可能な「平和」の時代を支えていたのは、
人と人とのつながりを重んじる心、
自分勝手なふるまいを慎み、自分も周りも気持ちよく暮らす生き方です。

雨の日、狭い路地ですれ違う時に傘を外側に傾ける「傘傾げ」もその一つ。
互いに濡れないようにという「思いやり」の気持ちと、
傘が破れないようにという「モノを大切に使う」気持ちがあります。

「ECO EDO 日本橋」とは

そんな江戸のまちに息づいていた共生の精神をいまに伝え、
日本橋ならではの新たなスタイルを創造し、発信するまち。

人と人、人と自然のつながりを大切に作る心で築いていく循環型社会。

新旧の知恵を生かしたまちづくりが、日本橋からはじまります。

～SMART MOVE について～

環境省では、環境負荷の小さい公共交通機関の利用や自転車活用、自動車の利用方法の工夫などにより、「移動」に伴う CO2 排出削減にチャレンジし、エコで、便利・快適に、しかも健康にもつながるライフスタイルを「smart move」と名づけ、広く呼びかけています。毎日多くの人々が街を回遊する日本橋は、スマートムーブを具現化するポテンシャルを秘めている街です。今回のイベントは徒歩や公共交通機関など“環境にやさしい移動手段”で楽しめる日本橋の魅力を紹介し、来街者やオフィスワーカーに、自分に合った“エコな移動”の選択や組合せ作りや、街めぐり＝smart move といった“気づき”のきっかけになることを期待します。

HP : <http://www.challenge25.go.jp/smartmove/>

「smart move」が推進する5つの取組

